

# 第二期けんこう帯広21改訂版 素案

平成29年11月22日  
厚生委員会提出資料

## 1. けんこう帯広21の改訂要旨

### (1) けんこう帯広21の中間評価と取組の見直し

第二期けんこう帯広21は平成25年度から34年度までの10年間の計画期間とし、策定から5年後に中間評価を行うことを定めている。

このため今年度、市民アンケート調査のほか、関係機関や庁内各課のメンバーによるワーキンググループ会議、関係団体との意見交換会を通して取組の実施状況や評価指標の進捗、計画後半の課題を明らかにし、その結果をもとに取組の見直しや新たな取組の検討を行い、最終目標の達成に向けた改訂版を作成するもの。

### (2) 自殺対策計画としての位置付け

平成28年3月の自殺対策基本法改正に伴い、都道府県及び市町村は、国の新たな自殺総合対策大綱（平成29年7月閣議決定）や地域の実情等を勘案し、地域自殺対策計画を策定することが義務付けられた。

帯広市においては、これまで「第二期けんこう帯広21」に基づき、自殺対策を含むこころの健康づくりを促進してきたことに鑑み、本計画に国のガイドライン等を踏まえた関連施策を明記するとともに、毎年度の評価においてその成果等を示すことにより、本計画に自殺対策計画としての性格を持たせるものとする。

## 2. 改訂の内容

### ●取組の追加等

（「本人や家族の取組」「地域・関係機関の取組」「市の取組」に必要な事項を加える）

領域	現状・課題	主な追加事項等
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規透析導入患者数の増加 ⇒医師・保健師等の連携による治療継続や適切な生活習慣の支援</li> <li>特定健診受診率の目標値未達成 ⇒より効果的な健診の受診勧奨、糖尿病の知識の周知啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病連携手帳の活用</li> <li>周知啓発の強化</li> </ul>
がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国平均を上回るがん死亡率 ⇒がんのリスク要因（喫煙、ピロリ菌、肝炎ウイルス等の感染症）を減らす。</li> <li>がんになっても安心して暮らせる環境づくり ⇒当事者や家族への理解促進、仕事との両立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事者や家族への理解促進</li> <li>喫煙対策</li> <li>感染対策</li> </ul>
こころ	<ul style="list-style-type: none"> <li>依然として国や道と比較して自殺死亡率が高い ⇒地域全体で連携して行う取組の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SOSの出し方の普及啓発</li> <li>連携による相談支援の充実</li> </ul>
妊娠・出産期 乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期における生活習慣づくりの重要性を再認識 ⇒食育や歯科保健の継続的实施</li> <li>全国平均を上回る女性の喫煙率 ⇒喫煙対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育の推進</li> <li>かかりつけ歯科の推進</li> <li>喫煙対策</li> </ul>
学齢期	<ul style="list-style-type: none"> <li>学齢期における健康管理の意識向上の重要性を再認識 ⇒年齢に応じた健康づくりの啓発</li> <li>アンケート結果より喫煙者の多くは未成年で吸い始めていることから若年層への働きかけが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙対策</li> <li>生活習慣病の予防知識の普及</li> </ul>
青年期 壮年期 中年期	<ul style="list-style-type: none"> <li>20～60代男性の肥満者の増加、20～64歳の運動習慣者の減少、規則正しい食事習慣の欠如、満足できる睡眠の不足 ⇒個人への情報発信、企業への啓発の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛り世代へ向けての情報発信の強化</li> <li>企業に対する健康づくりの支援や啓発</li> </ul>
高齢期	<ul style="list-style-type: none"> <li>咀嚼・飲み込みの機能低下により低栄養や肺炎などのリスクが高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔機能低下に関する知識の普及啓発</li> </ul>

### ●目標値の変更

以下の4指標は最終目標値を達成したため目標値を変更する。

項目	変更前	H28実績	変更後	変更の考え方
自殺者の減少 （人口10万人あたり）	25.6人	25.5人	18.6人	平成27年の数値21.9人を10年間で30%以上減少させることを目指す。（5年後までに15%減少）
3歳児のう歯のない率の増加	80.0%	86.6%	86.6%	今までの取組で効果がでていることから現在の取組を継続し現状維持を目指す。
12歳児の一人平均う歯数の減少	1.0歯	0.8歯	0.8歯	
健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加	50社	51社	100社	計画前半と同じペースでの増加を目指す。

## 3. 自殺対策について

### ●基本的な考え方（「計画の基本的な考え方」に追加）

国のガイドライン及び帯広市の現状を踏まえ、生きることの包括的な支援を通し、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会をつくることを目指し、以下の視点を基本に関連する取り組みを着実に推進する。

- ◆生きることの促進・阻害の双方向からの自殺リスクの低下
- ◆保健、医療、福祉、教育、労働など関連施策の有機的連携
- ◆関係機関、企業、住民等との幅広い協働

### ●取組内容等

取組の柱（重点課題「こころの健康対策」等に追加）

- 普及啓発
  - 自殺に対する正しい知識の普及
  - うつ病等に関する普及啓発の推進
  - 自殺予防週間・自殺対策強化月間の取組強化
- 人材養成
  - 関係機関、民間団体との連携強化
  - 相談対応者や教職員等に対する知識の普及と研修の実施
  - 職場や地域でのゲートキーパーの養成
- 相談支援
  - 窓口情報の周知啓発と連携強化
- 未遂者・事後支援
  - 帯広保健所との連携強化

重点事項（同上）

- SOSの出し方の普及啓発
- 複雑な課題を抱える人への相談支援の連携強化

推進体制等（「計画の推進にむけて」に追加）

- 庁内の「生きるを支える連携会議」を中心としつつ、関係機関・団体との連携を推進
- 「第二期けんこう帯広21」の進捗管理・評価の中で、自殺対策の成果・課題等を整理